



令和4年度 3月号 人権一口講座



「人権尊重社会の実現」に向けて

人権とは、誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利です。わたしたちは「自分の個性や能力を生かして働きたい」や「健康で文化的な生活がしたい」など、幸せに暮らすための様々な願いを持っています。そして、この願いが叶うよう日々努力をしています。

しかし、わたしたちの身の回りには、その願いをおびやかすような様々な人権問題があります。ここ、ふれあい文化センターは社会的な弱者と言われる「高齢者」に特化したのサポートを行っている施設でもあります。社会生活をしていく中で、清潔保持はマナーとしてあるべきところです。そこで入浴サービスを期日を決めて行っています。また、健康保持も大切です。そのために健康増進回復室（通称「リハビリ室」）を設けて、付近の高齢者や遠方の市内在住の方も通っておられます。

ふれあい文化センターの設置目的は「人権尊重の社会実現」で、それを目指すための「人権と福祉の施設」なのです。なので、通所される高齢者にも温かく接するよう心がけています。笑顔での対応や口調も優しく聞かせるように努力しています。しかし、時折、高齢者からの怒りに正面衝突します。「何言いたいのか。いっちゃん分からん。」「自分が言いよることが正しかった。言うことを聞け！」そんな場面に合いながら、「気持ち荒れることが何かあったのかも。ここはぐっと…」と何回、思ったことがあったでしょうか。

近年はあまり近所と交流をされない高齢者が増えています。「人づきあいが良い人・そうでない人」など、性格やコミュニケーション力は人それぞれに違います。それは、持つて生まれた能力と生きていくうちに身につけた力や技量が人によって千差万別だからです。ここに挙げた得意不得意や性格は「個性」とも言われます。

人が見た目や価値観など違いを持っているのは当たり前のこと。ですが、私たちは「自分とは違う他人」とまどったり、避けてしまったりしてしまいます。また、多様な「個性」に対する勝手な思い込みや固定観念から、差別や偏見が生まれてしまうのです。しかしながら、必要とされない「個性」はありません。そして、私たちの考え方や生き方にも優劣などありません。

人権を尊重するということは、自分とは違う他人を受け入れ、その他人が幸せに生きていくための権利を大切に扱うということです。このことを一人一人が考え行動することで、人権尊重社会の実現につながると、そう私は信じたいです。



短メッセージ

自分を隠しているよりも
自分らしくいる方が 本当の自分で笑えるよ

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会の力レンダー 豊田小学校6年 大嶋香莉奈さんの作品より